

事業所名

児童デイサービスいっぽ

支援プログラム

作成日

2025年

2月

21日

法人（事業所）理念		仲間同士が共に考え共同していく楽しさや大切さを育てていきます						
支援方針		年齢に応じた支援として、年齢が低い子においては、自分作りや自分発見、毎日の生活でのスキルアップを目指し定着していくようサポートします。年齢が上がるにつれ、自分の思いや状態など他者に伝える事・伝え方などを中心に支援に繋げていきます。異年齢のお友だち同士が関わり過ごす場として個々が持つ優しい気持ちや責任感などの気持ちも大事にしていき「楽しく」過ごしていける様サポートしていきます。						
営業時間		9時	30分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		学校休校日は17時まで						
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	年齢に応じトイレトレーニングや着替え、生活に必要な動作が身につくよう個別課題として取り組みます。不登校などで自宅に引きこもりがちな子に対してのサポートなど本人の発達段階と生活環境を把握し、繰り返し支援を行い本人が出来る形での定着を図ります。						
	運動・感覚	集団活動を通し、体幹運動や基礎運動、外出活動での歩行などを行い体づくりをします。感覚の過敏性などは、個々の状況把握と理解を背景に捉え、活動に参加しやすい方法や環境づくりを行い、緩和もしくは日常生活で困る事のないよう解決策を見出していきます。						
	認知・行動	見通しの立った行動・急な予定変更にも対応できる様、個々の発達段階に合わせ視覚的に分かりやすく提示し、落ち着いて行動できる環境づくりを行います。また、それぞれ理解しやすい方法を把握し、個別に支援に繋げ本人の生きづらさや困難さが軽減されるようにサポートしていきます。						
	言語コミュニケーション	本人の会話でのコミュニケーションの違いを理解・把握し、本人の伝えたいことが表出できる様、しっかりサポートしていきます。伝える楽しさ・伝わる嬉しさ・分かってもらえた気持ちを自信に繋げていきます。						
	人間関係社会性	お友達との関りを通して、相手への伝え方・相手の意図を汲み取り行動する力・相手とのやり取りの楽しさなどを集団活動を通して育てていきます。集団でのルールや活動への参加などを通して社会性を育てます。子どもたちで考える「こども会議」を設け、自分たちでルールを考え、どうしていくかや振り返りの場として考え、チームワークに必要な協調性・社会性・責任感を養います。お友だちとの集団生活の中で、相手とどうかかわっていくかを一緒に考え、共に過ごす楽しさや大切さを育てます。						
家族支援		ご家族様の生活リズムに合わせ、利用日や送迎時間などの調整を行い、各関係機関で情報共有を行いながら毎日を安定して過ごしていける様、またご家族様の負担軽減に繋げていきます。	移行支援		それぞれの移行時に合わせ、ご家族様やご本人様とも面談などを行い 相談・困りごとや不安に対し一緒に考えていきます。通学時の公共機関の練習や、外出時の交通ルールを取り入れた実践練習・進学先や就職先での不安などに一緒に取り組んでいきます。			
地域支援・地域連携		事業所周辺のごみ拾いなどの地域活動を通して、地域の方々との関りを大切にしていきます。	職員の質の向上		職員全員が毎月WEB研修を受け、質の向上を目指します。会議の場ではそれぞれが意見を伝える事ができる場を持ち、職員全員で考え支援に繋げていけるよう取り組みます。			
主な行事等		毎月行事カレンダーを作成し、毎日みんなで取り組むことのできる活動を取り入れています。（音楽活動や季節の制作活動・体幹体力アップトレーニング・SST生活力スキルアップトレーニング・地域活動など）その他は、春と秋の遠足・おやつクッキング・お誕生日会・各季節の催し物・クリスマス会は保護者参観として開催。また、夏祭りやクリスマス会は保護者交流会として保護者の皆様にもお越しいただいております。						